

# 豪雨による水害に備えましょう！

～自分と家族を守るために、今できること～

近年、集中豪雨等による水害が全国各地で頻発しています。短時間の強い雨でも、道路の冠水や住宅の浸水が発生し、私たちの生活に大きな影響を及ぼします。こうした水害から身を守るためには、次の3つのポイントを意識した備えをはじめましょう。

## 1. ハザードマップで浸水リスクと避難所等を確認

まずは、自宅や職場、学校周辺の浸水リスクを把握しましょう。各自治体が作成しているハザードマップには、想定される浸水区域や水深、避難所の位置等が詳しく示されています。

- 飯塚市ハザードマップ  
<https://www.city.iizuka.lg.jp/shobobosaianzen/bosai/bosai/yobo/map.html>
- 嘉麻市土砂災害・水害ハザードマップ  
<https://www.city.kama.lg.jp/soshiki/4/3378.html>
- 桂川町防災ハザードマップ  
<https://www.town.keisen.fukuoka.jp/kurashi/benri/hazard.php>

これらのマップを活用し、自宅等が浸水想定区域に含まれているか、最寄りの避難所までの安全な経路はどこかを事前に確認しておきましょう。

## 2. 早めの避難行動を心がける

水害は急激に状況が悪化することがあります。気象情報や自治体からの避難情報を常に確認し、警戒レベルが上がった場合は速やかに行動を開始しましょう。特に夜間や雨が激しい時は、避難が困難になるため、明るいうちの避難を心掛けましょう。

既に浸水が始まっているなど移動するのに危険な状況になってしまった場合は、自宅の2階以上への垂直避難も検討してください。

## 3. 家庭での備えと情報共有

避難が必要になったときに備え、貴重品や衣類、非常用食品などを非常持ち出し袋に入れて、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。

また、家族で避難時の連絡方法や集合場所を話し合い、共通の認識を持つことが重要です。

気象情報を確認することで、水害はある程度予測して備えることができます！  
気象情報を確認し、事前にしっかりと備えましょう。

